

学 年

1 年

【正負の数】④ 正の数・負の数の加法・減法(1)

年 組 氏名

1 次の計算をなさい。

(1) $(+3) + (+2)$

(2) $(+6) + (-2)$

(3) $(-3) + (+5)$

(4) $0 + (+7)$

2 次の計算をなさい。

(1) $(-3) + (+2)$

(2) $(+3) + (-7)$

(3) $(-3) + (-2)$

(4) $0 + (-27)$

3 次の計算をなさい。

(1) $(+3) - (-2)$

(2) $(+6) - (+2)$

(3) $(-3) - (-5)$

(4) $0 - (-7)$

4 次の計算をなさい。

(1) $(-3) - (-2)$

(2) $(+3) - (+7)$

(3) $(-3) - (+2)$

(4) $0 - (+27)$

5 計算した結果が+6, -6になるように下の()内に正の数, 負の数を書き込みなさい。

*正の数には+を, 負の数には-をつけておくこと

$(\quad) + (\quad) = +6$

$(\quad) - (\quad) = -6$

$(\quad) + (\quad) = +6$

$(\quad) - (\quad) = -6$

学 年

1 年

【正負の数】④ 正の数・負の数の加法・減法(1)

年 組 氏名

〔Point〕 加法

同符号の2数の和…2数と同じ符号を2数の絶対値の和につける

異符号の2数の和…絶対値の大きい方の符号を2数の絶対値の差につける

「たし算をすれば、必ず大きくなる」ということはない。「負の数」を加えることの意味を理解しましょう。

① 次の計算をなさい。

$$\begin{array}{llll} (1) (+3)+(+2) & (2) (+6)+(-2) & (3) (-3)+(+5) & (4) 0+(+7) \\ =+5 & =+4 & =+2 & =+7 \end{array}$$

② 次の計算をなさい。

$$\begin{array}{llll} (1) (-3)+(+2) & (2) (+3)+(-7) & (3) (-3)+(-2) & (4) 0+(-27) \\ =-1 & =-4 & =-5 & =-27 \end{array}$$

〔Point〕 減法

正の数・負の数をひくには、符号を変えた数をたせばよい。

「ひき算をすれば、必ず小さくなる」ということはない。「負の数」を引くことの意味を理解しましょう。

③ 次の計算をなさい。

$$\begin{array}{llll} (1) (+3)-(-2) & (2) (+6)-(+2) & (3) (-3)-(-5) & (4) 0-(-7) \\ =(+3)+(+2) & =(+6)+(-2) & =(-3)+(+5) & =0+(+7) \\ =+5 & =+4 & =+2 & =+7 \end{array}$$

④ 次の計算をなさい。

$$\begin{array}{llll} (1) (-3)-(-2) & (2) (+3)-(+7) & (3) (-3)-(+2) & (4) 0-(+27) \\ =(-3)+(+2) & =(+3)+(-7) & =(-3)+(-2) & =0+(-27) \\ =-1 & =-4 & =-5 & =-27 \end{array}$$

⑤ 計算した結果が+6, -6になるように下の()内に正の数, 負の数を書き込みなさい。

*正の数には+を, 負の数には-をつけておくこと

様々なパターンが考えられる。整数, 分数, 小数など。演算式を作ることは, 文字での立式につながります。

$$(\quad) + (\quad) = +6 \qquad (\quad) - (\quad) = -6$$

$$(\quad) + (\quad) = +6 \qquad (\quad) - (\quad) = -6$$